



志位和夫 はたの君枝 さいとう和子 沼上とくみつ

発行 日本共産党国会議員団
2020年11月 南関東ブロック事務所
横浜市神奈川区西神奈川1-10-16
斎藤ビル2F Tel 045-324-6516

国会活動報告

核兵器禁止条約の発効の確定を心から歓迎する

志位和夫委員長は10月25日、核兵器禁止条約発効について歓迎の談話を発表しました。(以下要旨)



2017年7月に国連で採択された核兵器禁止条約が批准国50に達し、発効することが確定した。条約は、核兵器の開発、実験、生産、保有、使用と威嚇などを全面的に禁止し、完全廃絶までの枠組みと道筋を明記している。これは被爆者をはじめ、多くの政府や市民社会が共同した歴史的な到達である。日本共産党は、核兵器廃絶を戦後一貫して訴えてきた党として心から歓迎する。日本政府が条約に背を向け続けていることは、唯一の戦争被爆国として恥ずべきことであり、すみやかに署名し批准すべきである。日本共産党は市民と野党の共闘を発展させ、条約に参加できる新しい政府をつくるため全力をつくす。

こんな政権倒さなきゃ 志位委員長代表質問の傍聴と懇談会



志位和夫委員長は10月29日、衆院本会議の代表質問後に傍聴者と懇談しました。はたの君枝衆院議員、さいとう和子、沼上とくみつの両衆院比例予定候補、小選挙区候補らが参加しました。志位氏は代表質問で、日本学術会議の人事介入問題をただし、新型コロナ対策の拡充や暮らしを支える緊急提案をしました。本会議後の懇談会で志位氏は、「日本学術会議の問題についての首相の答弁は、答弁になっていない」と批判。「この問題は、日本の民主主義にとって分水嶺になる、これを止めないと、孫子の代に責任を負えない」と語りました。比例・小選挙区候補からは、総選挙に勝ち政権交代を、との決意が語られました。



(左から)はたの氏、志位委員長、さいとう氏、沼上氏=10月29日国会

暴風雨1年コロナ追いうち 千葉4市町支援もっと



(左から)さいとう氏、浅野氏、川副氏ら=10月22日館山市

千葉県は昨秋の台風で甚大な被害を受けました。災害から1年余、党千葉県委員会は10月22日、とりわけ被害の大きかった南房総市、鋸南町、館山市、鴨川市と懇談し、現状と国への要望を聞きました。

南房総市では石井市長が「住宅や農家のビニールハウスは約7割が復旧したが未着手もある、空き家問題が被災後さらに深刻で、実効性ある対策を」と要望。鋸南町では白石町長が「花卉(かき)、海産物など一次産業に支えられてきた町だが、復興困難で離農が進み、異常な気候で漁業の従事者も激減した」と厳しい現状を語りました。館山市では鈴木副市長が「半壊以上の140軒の撤去が進んでおらず、また、風や塩害でピワの収穫垣が半減した」。鴨川市では亀田市長らが「害虫による”ナラ枯れ”被害の早期対策が必要。ぜひ支援を」と求めました。

懇談には、さいとう和子氏、浅野ふみ子衆院千葉7区予定候補(県党副委員長)、葛原茂衆院千葉12区予定候補と、川副千葉県党副委員長、地元の党議員らが参加しました。

横浜市はカジノ誘致中止を 野党6党代表と市民の会が要請

「カジノの是非を決める横浜市民の会」と野党6党の代表は10月21日、林文子横浜市長にあて公開質問状を提出し、横浜へのカジノIR誘致を中止するよう求めました。政府が、自治体からの誘致計画申請受付時期を延期したことに伴う行動です。はたの氏、阿部知子衆院議員(立民)のほか、社民党、神奈川ネットワーク運動、緑の党、新社会党の代表者が参加し、平原副市長が応対しました。参加者は、同会が取り組みを進める「カジノの是非を問う住民投票条例制定を求める直接請求署名」が10万を超えたことを報告。

副市長は「市長は住民投票が実施されれば結果を尊重するとしている」と述べました。はたの氏は、林市長が「白紙」としていた公約違反を反省し、市民の声を聞き、IR誘致をやめるべきだと強調しました。



横浜市に申し入れる、はたの氏(左端)ら
=10月21日横浜市役所

崩落死亡事故検証を 横浜駅近くはたの議員ら調査



(右から)宇佐美さやか市議、沼上氏、はたの氏、上野たつや県議

横浜市神奈川区で10月13日に発生した、工事現場の穴の土砂が崩落して男性作業員が死亡した事故で、はたの氏は14日、事故現場を訪れました。沼上氏、上野たつや県議、宇佐美さやか市議が同行。

現地で黙とうし、隣接するビルから事故現場などを確認しました。工事は国家戦略特区を適用して容積率を緩和し、横浜駅西口近くに地上43階、高さ180mのビルを建設する工事の一部。総工費は約453億円、うち横浜市の財政支援金(国費含む)は45億円の予定です。はたの氏は、「民間事業だが、国と横浜市が巨額の補助金を出す。

工事に無理がなかったのか検証する必要がある」と指摘。宇佐美氏は「党市議団は市の補助金について議会で取り上げてきた」「補助金を出すからには、その理由や根拠を明確にと、結果として市の負担は5億円減った。今後もチェックします」と述べました。

任命拒否許されない 山梨で憲法集会

「戦争させない・9条壊すな! 山梨行動実行委員会」は11月3日、甲府市のJR甲府駅南口で憲法集会を開催、約100人が参加しました。主催者あいさつで椎名山梨学院大名誉教授は「菅政権は改憲へ向かう姿勢を示している。安倍政権を追い詰めた団結の力で市民と野党の連合政権をつくる意思を示そう」と訴えました。

参加した野党を代表して日本共産党の花田県委員長があいさつし、「次の総選挙で菅政権を打倒し政権交代を実現しよう」と訴えました。県弁護士会憲法委員会の雨松拓真事務局長は、日本学術会議の任命拒否について「学問の自由・研究は憲法上でも最も自律性が求められ、独立性が必要。一人ひとりが憲法を守る声を上げていこう」と語りました。立憲民主党の宮沢由佳参院議員があいさつし、中島克仁衆院議員から連帯のメッセージが寄せられました。集会後、参加者で、リレートークとスタンディング宣伝を行い「憲法が生きる政治をつくろう」と呼びかけました。



(左から)はたの氏、君嶋ちか子県議、市古次郎市議ら=10月16日横浜市

「賢い踏切」の工事開始早く

川崎市の「平間駅横・開かずの踏切をよくする会」は10月16日、JR東日本横浜支社を訪れ懇談しました。はたの氏、君嶋ちか子県議、市古次郎市議が同席しました。同会が繰り返し改善要望を重ねた結果、同社は1月、改善策の一つとして、2020年度末に同駅下り列車に「踏切警報時間制御装置」(賢い踏切)を導入すると発表しました。導入により、下り列車一本につき踏切の遮断時間を最大27秒短縮できるとしています。同会は、一刻も早く賢い踏切の工事を開始することなどを求めました。